



## エコクリティシズム研究学会

事務局便り No.7 March 1, 2016

<http://www.ses-japan.org/>

事務局便り7号は、本学会の出版事業について、2016年SES-J・MESA合同大会、昨年度大会、Hiromi Goto氏特別講演会などのご報告、ASLEのaffiliationについて、会費納入のお願いなどを掲載しています。

### エコクリティシズム研究学会の出版事業 過去、現在、未来

エコクリティシズム研究学会副代表 藤江啓子（愛媛大学）

エコクリティシズム研究学会（SES-J）ではこれまで多くの本を出版してきました。現在も単著を主とした研究叢書FE(Frontier of Ecocriticism)が出版進行中であり、また、会員希望者全員による共著の計画もあり、近々出版の予定です。拙書の単著が出版間近ということもあり、ここでは、学会の出版物について述べたいと思います。

過去に出版された研究書や翻訳書、ガイドブックは以下の通りです。

- 1) ハロルド・フロム、ポーラ・G・アレン、ローレンス・ビュエル他著、伊藤詔子、横田由理、吉田美津他訳、『緑の文学批評——エコクリティシズム』（松柏社）1998年。
- 2) 伊藤詔子、吉田美津、横田由理編、『新しい風景のアメリカ』（南雲堂）2003年。
- 3) スコット・スロヴィック、伊藤詔子、吉田美津、横田由理編、『エコトピアと環境正義の文学——日米より展望する広島よりユッカマウンテンへ』（晃洋書房）2009年。
- 4) ローレンス・ビュエル著、伊藤詔子、横田由理、吉田美津、三浦笙子、塩田弘訳、『環境批評の未来——環境危機と文学的想像力』監修共訳（音羽書房鶴見書店）2009年。
- 5) 伊藤詔子監修、『オルタナティヴ・ヴォイスを聴く——エスニシティとジェンダーで読む現代英語環境文学103選』（音羽書房鶴見書店）2011年。
- 6) スコット・スロヴィック著、中島美智子訳《エコクリティシズム研究のフロンティア第4巻》『スコット・スロヴィックは語る——ユッカマウンテンのように考える』（英宝社）2014年。
- 7) 熊本早苗、信岡朝子編、《エコクリティシズム研究のフロンティア第3巻》『核と災害の表象——日米の応答と証言』（英宝社）2015年。

このうち6)と7)が現在進行中のエコクリティシズム研究叢書です。叢書の次巻は藤江啓子著《エコクリティシズム研究のフロンティア第6巻》『資本主義から環境主義へ——アメリカ文学を中心として』です。イギリスに始まる資本主義の確立と産業革命がいかにアメリカに影響し、それが環境破壊の道となり、現代ではニュージーランドの先住民の生活までも脅かしていることを、文学に見るものです。近日出版予定です。共著企画は、現在29名の執筆希望者に加え、顧問のスコット・スロヴィック先生と巽孝之先生にもご執筆いただく予定です。原稿締め切りは2016年5月末で、2017年3月に出版予定です。予定通りうまく刊行できますことを祈ります。

今後エコクリティシズム研究叢書はあと4、5冊を2016年から2018年頃完成予定で進行しています。また英文によるテーマ研究の共著の計画も立案中です。皆様の研究成果の結実を願っています。



## ◆2016年 SES-J・MESA 合同大会日時と内容の決定

日時： 8月6日（土）9時30分～18時

場所： 大東文化会館(仮)（〒175-0083 東京都板橋区徳丸2-4-21）

池袋より東武東上線東武練馬駅下車5分（池袋から東武練馬駅までは約15分）

プログラムとレジメは7月中旬発送予定、懇親会の出欠については6月末にご案内します。

### [特別講演]

講師： スコット・スロヴィック（アイダホ大学環境文学教授、ASLE 初代会長、ISLE 編集長）

演題： “**Ecocriticism and the Psychology of Information Processing:  
Taking a Seat at the Table**”

（*Numbers and Nerves: Information, Emotion, and Meaning in a World of Data* より）

司会： 伊藤詔子（広島大学）

コメンテーター： 中村理香（成城大学）、マイケル・ゴーマン（広島市立大学）

### [シンポジウム]

テーマ： 「クロスエスニックの文学とエコクリティシズム（仮題）」

司会： 西垣内磨留美（長野県看護大学）

講師： 梶原克教（愛知県立大学）、平尾吉直（首都大学東京）、松永京子（神戸市外国語大学）、  
一谷智子（西南学院大学）

コメンテーター： 長岡真吾（島根大学）

### [研究発表]

夏目康子（津田塾大学）、デビッド・ファーネル（福岡大学）、清水菜穂（宮城学院女子大学）、  
ダニエラ・カトー（広島女学院大学）

~~~~~

## ◆第28回エコクリティシズム研究学会大会に参加して

日臺晴子（東京海洋大学）

2015年8月8日（土）、広島市立大学サテライトキャンパスにおいて、エコクリティシズム研究学会第28回大会が開催された。大会は、三重野佳子先生の総司会のもと、伊藤詔子先生の開会の辞、マイケル・ゴーマン先生の開催挨拶で始まった。伊藤先生、ゴーマン先生とともに、戦後70年という区切りの年にこの大会が広島で開催されることの意義について述べられたのが強く印象に残った。



午前中は、研究発表2件とシンポジウムが行われた。最初に、横田由理先生のご司会により、林千恵子先生の「封印された疾病大流行の記憶—アラスカ先住民の事例をもとに」の研究発表が行われた。アラスカ先住民たちがあまりの悲惨さゆえに封印してきたアラスカ全土を襲ったインフルエンザの記憶を、20世紀初頭の当時の記録などをもとに丹念にたどられ、記憶の封印がいかにも現代作家 Colin Chisholm や Velma Wallis に与えたかを考察された。徹底した歴史の検証作業を含む重厚な発表だった。



続いて、真野剛先生のご司会で、塩田弘先生が「“Higher Laws”と Rick Bass における狩猟と魚釣り」を発表された。Thoreau の思想を継承しつつ、狩猟愛好家でもある Rick Bass の作品において、狩猟行為がどのように捉えうるかを考察された発表で、フロアからのコメントでは、食物連鎖や環境倫理の問題とも関連付け



て論じる可能性が示唆され、更なる発展が期待される興味深い発表だった。

シンポジウム「ホーソンと自然」では、大野美砂先生が司会を務められ、城戸光世先生「ホーソン夫妻の旧牧師館テキストにみる自然表象」、中村善雄先生「ホーソンはサイエンス・フィクションの夢を見るか」、稲富百合子先生『『大理石の牧神』におけるホーソンの自然観』、大野美砂先生「ホーソン晩年の戦争紀行文に描かれたアメリカの風景」の4つの発表が行われた。これまで中心的テーマとして扱われることが少なかったホーソンの自然表象を取り上げた意欲的なシンポジウムで、自然表象に関してホーソンの妻がホーソンに与えた影響、植物／人間や自然／機械の境界を攪乱するバイオテクノロジー的表象、ヨーロッパ的な空間表象やメランコリーの概念から見る自然表象、戦争紀行文における文学的想像力など多岐に渡る視座が示され、それぞれが今後のシンポジウムのテーマとなりうるような独自性に溢れていた。



午後のプログラムは、ワークショップ「日系アメリカ人文学と原爆—Juliet S. KonoのAnshuをめぐって」で始まった。司会も務められた松永京子先生はAnshuを含む日系アメリカ文学における被爆者の身体表象について、深井美智子先生はAnshuの主人公ヒミコと火の関わりから炙り出される「暗愁」という言葉の含意について、牧野理英先生はAnshuに描かれた情動の分析からみた作品のトランスナショナルな側面について発表された。「当事者性」の問題や日本の「暗愁」との違いなど興味深い論点を中心に、活発な質疑応答がなされた。



今大会の特別講演は、小林富久子先生の「米国のマイノリティ女性および日本現代女性作家における「山姥的想像力」—ジェンダーとエコロジーの観点から」で、吉田美津先生が司会を務められた。日本の現代女性作家たちによる「山姥」を肯定的に捉える流れが、アメリカの少数民族女性作家にも見られ、その場合、「山姥」的女性像にエコロジカルな観点が色濃く表れていることが検証された。Ruth Ozekiをはじめ、このような女性作家たちの「山姥」的女性は、古典的な「山姥」表象に比べてより流動的且つハイブリッドな存在として表象されており、エコ・フェミニズムとの接続の可能性が示唆されるなど、非常に刺激的な講演であった。



学会終了後は、広島市内のレストランで懇親会が開催され、発表者の先生方をはじめ、多くの会員が参加し、和やかな雰囲気の中で、親交を深めることができた。戦後70年という節目の年に開催された今大会は、エコクリティシズム研究学会が今後更に充実した学問的発展を遂げてゆく可能性に満ちていることが示された会となったように思われる。最後に、開催校となり、会場の準備、運営にご奔走されたマイケル・ゴーマン先生、松永京子先生、懇親会の幹事を務めてくださった谷岡知美先生の細やかなご配慮に心から御礼を申し上げます。



## ◆Hiromi Goto 氏特別講演会報告

岸野英美（松江工業高等専門学校）

2015年7月4日、合人社ウェンディひと・まちプラザ（広島市内）にて日系カナダ人作家Hiromi Goto氏の特別講演会をSES-Jと科研費補助金若手(B)「日系アメリカ文学にみる環境思想——食と農業を中心に——」の共催で実施させていただきました。

“Body, Food, Land: An Ecology of Writing”と題して、Goto氏は従来の欧米文学において身体が死や病や障害のような否定的な要素と結びつけられる傾向



にあったことに疑問を持ち、身体をつくる食べ物や水、それらを生み出す大地、身体を取り巻く環境との包括的な関係を意識することの必要性を指摘されました。そして身体を軸にしてアイデンティティの形成から食や農業、環境を巡る問題までを有機的に絡めてお話されました。同時期に Goto 氏のデビュー作 *A Chorus of Mushrooms*(1994)の日本語による翻訳（『コーラス・オブ・マッシュルーム』彩流社、2015年6月）が出版されたこともあり、本作品を中心にいくつかの作品についても解説してくださいました。また日系文学研究の第一人者である桧原美恵先生（京都女子大学元教授）をコメンテーターとしてお迎えし、大変充実した講演会となりました。講演後フロアから多くの質問があり、Goto 氏と桧原先生から貴重なご意見を伺うことができたと同時に、新たな視点から Goto 氏の作品を分析する可能性を見出しました。

次号の『エコクリティシズム・レビュー』には今回お話していただいたものが掲載される予定です。是非ご一読ください。最後に、この特別講演会開催の機会を与えてくださった SES-J 代表伊藤詔子先生をはじめ、多くの先生方にこの場をお借りして心よりお礼申し上げます。

~~~~~

## ◆学会共著中間報告

### エコクリティシズム研究学会代表 伊藤詔子（広島大学）

本学会員およそ 30 名が執筆者として参加する、エコクリティシズム研究別冊は、現在、部の構成と目次をほぼ確定し、順調に進んでいます。5 月末日の原稿提出に向けて、編集委員、執筆者翻訳者が鋭意仕事をしています。本のタイトルは 6 月 12 日に開催予定の編集委員会で本書にふさわしいものに確定し、入稿後 2017 年 3 月末までには出版したいと考えています。

なお 1 月より、編集長は塩田氏、副編集長は松永氏、編集委員浅井、伊藤、大野、上岡、藤江の体制で進めています。アメリカンルネサンス以前のエコクリティシズムの源泉から現代的展開、SF、エコロジー、ポストヒューマン、核時代の文学までの部構成で、序章にはスロヴィック氏の最新のエコクリティシズム論、終章には巽氏のヨセミテ公園にかかわるエッセイが来る予定です。エコクリティシズムのテーマを縦横にたどるとともに、英米以外のアラスカ、オーストラリア、ブラジル、日本などにも目を向けて、地球の未来を語り描くエコクリティシズムの論文集にする計画です。ご協力、よろしく願いいたします。

またこれ以外にも学会員の出版企画等が始まっていると聞いています。今年合同大会準備や 2017 年の大会に向けて、シンポやワークショップに取り上げるべき課題、読むべき本や発表すべきテーマ、またミシガンで開催予定の ASLE 大会にむけて考えていただき、相互に話題を共有し研究し合っ、さまざまなグループで活動して下さることを願っています。

エコクリティシズムとはまさに、世界の場所が生み出す有形無形のテキスト・自然と社会・人間相互のネットワークを築き、そのネットワークの関係性の中で生きることそのものなのです。

~~~~~

## ☆事務局より新入会員のご紹介☆（50 音順）

2015 年 8 月からの 2016 年 2 月までの新入会員のご所属とご専門をご紹介します。  
種子田 香氏（大谷大学、19 世紀、20 世紀のアメリカ南部小説、特に Ellen Glasgow の小説）  
松岡信哉氏（龍谷大学、William Faulkner）

~~~~~

## ☆各種委員会からのご報告&お願い☆

### 国際広報委員より

#### ★★ご報告

#### SES-Japan、ASLE Professional Affiliate となる

このたび、エコクリティシズム研究会(SES-Japan)は、ASLE(Association for the Study of Literature and Environment) の Professional Affiliate(専門連携学会) の資格を得て、国際学会のコミュニティーの一員になりましたことを皆様にお知らせいたします。この ASLE Professional Affiliate とは、既に活動実績のある学会や団体が、ASLE との連携によって活動の幅を広げるための制度で、ASLE の専門委員が情報作成と管理にあたっています。SES-J では広報委員(マイケル・ゴーマン先生と塩田弘)が渉外係となりましたので、大会プログラム、講演会情報、学会出版情報など、ASLE に伝達すべき情報は両委員に英語でお送りください。ASLE Professional Affiliate の詳細につきましては、以下のホームページをご覧ください。

<http://www.asle.org/explore-our-field/affiliated-organizations/>

本会の ASLE でのニュース掲示板は以下です。今後定期的に更新されるので、ご覧くださるよう併せてご案内します。 <http://www.asle.org/stay-informed/6326/>

#### ★★お願い

会員の出版(単著・共著)・書評・学会などの情報は、ご本人の連絡に基づき研究情報として会員にメーリングリストと HP でお知らせしますので、塩田弘宛て ([shiotah@shudo-u.ac.jp](mailto:shiotah@shudo-u.ac.jp)) にご連絡下さい。その際、書名、出版社名の英訳情報も併せてご連絡下さいますよう、お願いいたします。

### 出版計画委員会よりご報告

出版企画〈エコクリティシズム研究のフロンティア シリーズ〉刊行(英宝社)の2冊を報告します。

1. 書名 『スコット・スロヴィックは語る——ユッカマウンテンのように考える』(エコクリティシズム研究のフロンティア 4)

編訳者 中島美智子、2014年12月1日刊行、1800円。

2. 書名 『核と災害の表象——日米の応答と証言——』(エコクリティシズム研究のフロンティア 3)

編著者 熊本早苗/信岡朝子、2015年3月30日刊行、2400円。

2016年度には3巻目が刊行予定です。

### ホームページ委員よりお願い

ホームページ上に掲載する以下の記事を常時受け付けています。皆様のご協力で内容を充実していきたいと思っておりますので、よろしくごお願い申し上げます。宛先：三重野佳子 [mieno@nm.beppu-u.ac.jp](mailto:mieno@nm.beppu-u.ac.jp)

- (1) 「旅する会員」ページ：皆様の旅先や研修先などで撮られた写真を記事と一緒にお願いします。

ページに載せる形に大体整えてワードファイルあるいは PDF ファイルでお送りください。

- (2) 「エコクリティシズムテーマの概要」で、現在のテーマの他にもご提案がありましたらお願いします。出版計画委員会で掲載を検討します。

- (3) 国際広報委員に寄せられた会員の皆様の出版情報を News ページで研究情報として掲載します。

### 会費納入のお願い

年会費4000円(学生会員3000円、シニア会員2000円)のご納入を、4月末日までにご希望いたします。

昨年の総会で決まりましたように、今年度より、4月1日現在で満66才以上の方で、希望者はシニア会員になることができ、会費は2000円になりますので、希望者は、事務局の平瀬洋子 ([danbara@mpd.biglobe.ne.jp](mailto:danbara@mpd.biglobe.ne.jp)) まで生年月日をご連絡下さい。

また、ご寄附いただける場合は、その旨振込用紙の通信欄にお書きの上、どうぞよろしくお願い申し上げます。

振込先： ゆうちょ銀行 加入者名 エコクリティシズム研究会 口座番号 01380 - 4 - 96525

**住所、ご所属、メールアドレスの変更届のお願い**

この春、住所やメールアドレス・所属等に変更があった方は、平瀬洋子宛て (danbara@mpd.biglobe.ne.jp) に必ずご連絡下さい。



2016年3月1日 エコクリティシズム研究会事務局発行

エコクリティシズム研究会 代表 伊藤 詔子

事務局 〒738-8504 広島県廿日市市佐方本町 1-1 山陽女子短期大学 水野敦子研究室 mizuno@sanyo.ac.jp

〒739-0321 広島市安芸区中野 6-20-1 広島国際学院大学 平瀬洋子研究室 danbara@mpd.biglob.ne.jp